

この変貌、信じられますか？

初代の荒川大橋（明治42年、埼玉県立図書館所蔵）



令和4年度春期企画展

# 荒川今昔写真展



2023年

3月25日[土]~5月7日[日]

開館時間 9:00 ~ 17:00

月曜休館（5月1日は開館）

※開館日・開館時間・イベント等については、今後の諸事情により変更する場合があります。

一般 410円（240円）

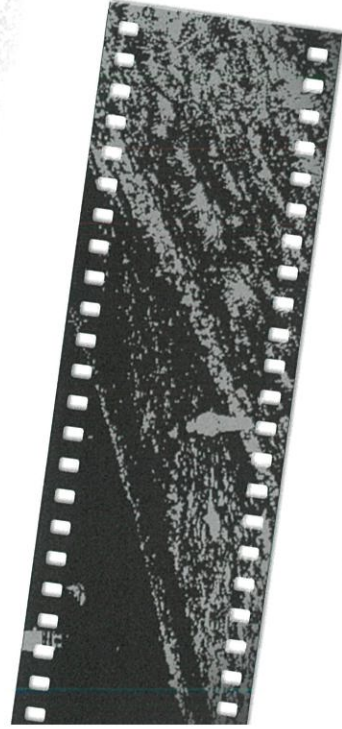
学生・高校生 200円（120円）

※（ ）内は20名以上の団体料金

※中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方は無料



波久礼の舟遊  
（大正13年、さいたま文学館所蔵）



現在の波久礼付近（玉淀湖）

令和4年度春期企画展

# 荒川今昔写真展

荒川は、年々その姿を変えています。大洪水で川の状況や流路が変わり、河川改修工事で川の姿や環境が変わってきました。特に大正時代以降は、水害を防ぐため河道の直線化、堤防建設、ダム建設などの工事が行われ、また近年は「親水」を目的とした改修工事も各所で行われています。

それでは変貌する以前の荒川はどんな貌をし、人々の暮らしとどう結びついていたのでしょうか。それを伝えてくれるのが古い写真や絵はがきです。この企画展では、明治以降に撮影された写真や絵はがきをパネルで紹介するとともに、その場所が現在どのように変わっているかを比較することで、「埼玉の母なる川」の移り変わりをテーマにしてみました。



波久礼付近の船下り  
(さいたま文学館所蔵)



二瀬ダム建設前の集落  
(国土交通省二瀬ダム管理所所蔵)



荒川での水浴び (北本市所蔵)



馬宮の渡し  
(さいたま市立馬宮西小学校所蔵)



初代の荒川大橋  
(土木学会附属土木図書館所蔵)



新荒川大橋を渡る牛車  
(川の博物館所蔵)



旧秩父橋  
(土木学会附属土木図書館所蔵)



川越線の蒸気機関車 (川越市所蔵)

## 〈関連イベント〉

### 展示解説

日時：3/26〔日〕

- ①11:20～11:50
- ②15:00～15:30

内容：担当学芸員が展示写真の解説と、荒川の移り変わりを解説します。

参加費：無料（開始時間までに第2展示室にお越しください）

定員：各回10名程度

※詳細はホームページ参照、もしくは当館にお問い合わせください。

### 写真パネル展示

古写真・絵はがき 約60点  
(他に同数の現況写真を展示)

### 動画上映 (常時)

埼玉ニュース「荒川」(1955年)  
埼玉ニュース「橋」(1956年)

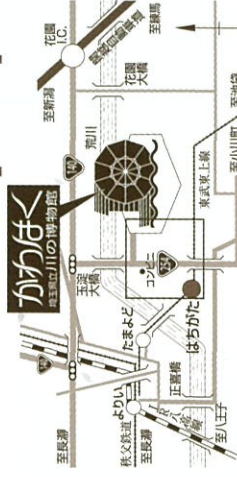


埼玉県立川の博物館

@SaitamaMuseumOfRivers

@kawashirou

〒369-1217 埼玉県大里郡寄居町小園39  
TEL.048-581-7333 FAX.048-581-7332  
URL <https://www.river-museum.jp/>



- 自動車
- ▲ 開越自動車道 花園ICより18分
- 電車+徒歩
- 東武東上線(鉢形駅下車徒歩20分)
- 電車+タクシー
- 寄居駅下車タクシーで7分
- 駐車料金
- 普通車 300円・バス 1,030円